

2023

ANNUAL REPORT

公益財団法人お金をまわそう基金



Contents

- 03 ごあいさつ
- 04 第8期助成事業のご報告
- 05 助成先団体のご紹介
 - 06 特定非営利活動法人福岡教育サポート
特定非営利活動法人全国夜間中学ネット
 - 07 特定非営利活動法人クリエイト
特定非営利活動法人ネモ ちば不登校・ひきこもりネットワーク
 - 08 特定非営利活動法人ならはらの森なかの学舎
特定非営利活動法人ユースコミュニティー
 - 09 認定特定非営利活動法人エンパワメントかながわ
特定非営利活動法人Gumi
 - 10 特定非営利活動法人みらぼて
公益社団法人 ON THE ROAD
 - 11 特定非営利活動法人ハーベスト
特定非営利活動法人glolab
 - 12 特定非営利活動法人みんなの進路委員会
特定非営利活動法人アスリード
 - 13 特定非営利活動法人子育てサロンすくすく
 - 14 特定非営利活動法人ウルシネクスト
特定非営利活動法人LAMP
 - 15 公益財団法人あいである
特定非営利活動法人ハイティーンズサポートちば
 - 16 特定非営利活動法人タイガーマスク基金
一般社団法人天理文化の会
 - 17 一般社団法人星つむぎの村
特定非営利活動法人秋川流域生活支援ネットワーク
 - 18 特定非営利活動法人Lino
特定非営利活動法人スノーズレンを普及する会
 - 19 特定非営利活動法人プロジェクトサンタ
特定非営利活動法人みかんぐみ
 - 20 特定非営利活動法人しぶたね
公益財団法人がんの子どもを守る会
 - 21 特定非営利活動法人びくにくく
特定非営利活動法人釧路・根室権利擁護支援センター
 - 22 特定非営利活動法人ソソリッサ
特定非営利活動法人魚沼地域医療連携ネットワーク協議会
 - 23 特定非営利活動法人D-SHIP32
一般財団法人日本京劇振興協会
- 24 お金をまわそう基金×休眠預金等活用事業
実行団体のご紹介
 - 特定非営利活動法人Lino
- 25 公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を
公益社団法人ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO
- 26 お金をまわそう基金 活動紹介
- 27 決算報告
- 29 スタッフあいさつ
- 30 寄付の取り扱いについて

お金をまわしてよりよい社会へ

おかげさまで、公益財団法人お金をまわそう基金は第8期を終えることができました。
第8期は、皆さまからのあたたかいご寄付により、様々な社会課題に取り組む36団体の活動を応援することができました。ご支援くださった皆さまに、心より感謝申し上げます。
設立以来、私たちは、社会課題の解決を目指す活動を寄付で応援することで、よりよい社会を次の世代につないでゆくことを目指してまいりました。
このご報告を通じて、皆様の寄付の先にある「よりよい社会」を思い描いていただけたら幸いです。

**お金をまわそう基金は
社会課題の解決をめざす団体と寄付者をつなぐ、
えんづくりのプラットフォームです**

安心して寄付していただけるよう、寄付してよかったと感じていただけるよう
以下のことに取り組んでいます。

助成先団体を責任をもって選びます

**助成先団体の活動を広め、共感とともに寄付を募ります
お預かりした寄付は100%助成先団体に届けます**



ごあいさつ

年初に発生した能登半島地震で被害に遭われた方々に、心からお見舞い申し上げます。

被災地では依然として多くの方々が、不安や困難の中でご苦勞なさっておりますが、一刻も早く安全で安心な日常を取り戻していただけるよう、お祈り申し上げます。

今、現地の皆さんの生活基盤の再建はじめ、日本各地で社会が抱える様々な課題が浮き彫りになってきています。いろいろな社会課題の解決を図るにも、長い年月と地道な努力を要します。それを国や行政の仕事とせず、私たち一人ひとりも、できるところから取り組んでいきたいと思っております。

経済も社会も、一人ひとりが自助の努力を重ねるのが基本です。そこに、お互いを支え合おうとする気持ちに乗っかってくれば、乗っかってくるほど、みな温かみのある幸せな生活を送ることができます。

そこで大きな働きをしてくれるのが、寄付という文化です。なにかお手伝いしたいなという思いや気持ちを、手持ちのお金に乗せてやるのです。

日本には1000兆円を超す個人マネーが預貯金に眠っています。日本経済の1.8倍という、途方もなく巨額の資金が寝かされたままとなっているのです。この上なくもったいない話です。その、たった4%が寄付にまわるだけでも、国の予算で最大項目となっている社会保障費37兆円を軽く上回る金額となります。私たち一人ひとりが預貯金に寝かせている虎の子を、ほんの一部でも寄付を通して社会に還流させれば、とんでもなく巨額な資金を社会の様々な不条理や不平等といった社会課題の解決に向けることができるのです。

お金をまわそう基金は、おかげさまで皆さまに支えられて第8期を終えました。社会の様々な不条理や不平等といった社会課題に対して、地道に真摯に取り組んでいる人たちをサポートするのだという思いは、設立時から変わっていません。日本社会のあちこちで芽吹いてきている社会課題の解決を目指す活動を、広い裾野からの寄付でもって支え育んでいく。そうしてできていく心優しい社会を次の世代へ残してやるのです。私たちは、その長い道のりの途上です。

第8期は、36団体、47事業に寄付をお届けすることができました。何期にもわたり助成先として活動してくださっている団体の数も多くなりました。また、何年にもわたり寄付で支えてくださる方もいらっしゃいます。真摯な活動で、あるいは寄付でもって、この道りに参加して下さったすべての皆様に御礼申し上げます。

これらの活動が社会に根を張り、実りを迎えるまで支え続けなければならないという使命感とともに、新しい期も一層努めてまいります。



公益財団法人お金をまわそう基金

代表理事

澤上 篤二

第8期助成事業のご報告

私たちは、みなさまからお預かりした寄付金を、より良い社会を目指し活動する団体にお届けしています。第8期は36団体47事業に総額1,560万円の助成金を届けることができました。ひとえにご支援頂いた皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。

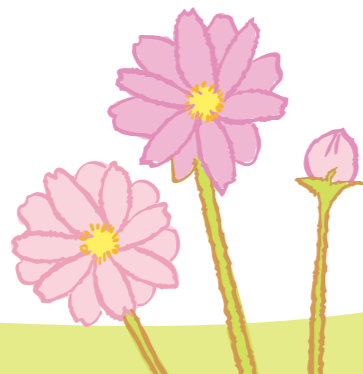
	第4期(2019年度)	第5期(2020年度)	第6期(2021年度)	第7期(2022年度)	第8期(2023年度)
寄付者数(のべ)	1,393人	1,456人	1,197人	1,343人	1,555人
助成先団体数	11団体	19団体	19団体	30団体	36団体
助成事業数	11事業	20事業	20事業	33事業	47事業
助成額	1,556万円	2,815万円	1,594万円	1,400万円	1,560万円

※寄付者数は複数回寄付している方や法人を含みます。※事業期間は12月1日から11月30日です。※当財団運営費への寄付は除きます。

●助成額内訳

助成先団体名	事業概要	助成額(円)
特定非営利活動法人福岡教育サポート	貧困世帯の子どもに未来を拓く無料塾を	771,590
特定非営利活動法人全国夜間中学ネット	経済困窮家庭の子どもたちに高校進学のための学習支援を	260,000
特定非営利活動法人クリエイト	フリースクールだからできる後押しとは一前進したい子どもたちへ	762,732
特定非営利活動法人ネモチば不登校・ひきこもりネットワーク	子どもたちが安心して過ごせる居場所＝フリースクールを守りたい	557,149
特定非営利活動法人ならはらの森なかの学舎	不登校の子どもたちが生き生きと過ごせる居場所を守りたい	599,783
NPO法人ユースコミュニティ	大田区で困難に直面する小学生を無料の塾・居場所で支える	511,806
特定非営利活動法人エンパワメントかながわ	10代の子どもたちが心を開いて話せる「LINE子どもしゃべり場」	197,478
特定非営利活動法人Gumi	子ども・若者のフリースペースGumi 学び場プロジェクト	236,499
特定非営利活動法人みらぼて	学校が苦手な子どもが安心して過ごせる居場所を地域に開いておくために	181,478
公益社団法人ON THE ROAD	いじめの相談電話へのSOSに24時間365日応えたい	272,637
特定非営利活動法人ハーベスト	宮城の中学校・高等学校に地域の社会人との対話を届けたい	501,314
特定非営利活動法人glolab	外国にルーツを持つ経済的に困難を抱える高校生に進学機会を!	600,000
特定非営利活動法人みんなの進路委員会	四国の中高生たちに「世界に広がる進路の選択肢」を伝えたい!	144,478
特定非営利活動法人アスリード	10代の若者たちの「未来を生き抜く力」を育む授業『みらいteacher』	217,772
特定非営利活動法人子育てサロンすくすく	孤育て中の親を支え、親子がともに育つ子育てサロン	597,288
特定非営利活動法人ウルシネクスト	国内の漆生産量を増やし、漆文化を次の世代に!	660,516
特定非営利活動法人LAMP	米崎りんごを通じて子どもたちに陸前高田で生きること伝えたい	298,375
公益財団法人あいである	児童養護施設を退所した子どもを支援! お米と言葉を届ける『実家便』	233,439
特定非営利活動法人タイガーマスク基金	大学進学率が2割にも満たない児童養護施設の子どものために支援金を!	3,360,560
一般社団法人天理文化の会	出張子ども食堂で支援の輪を広げたい!	288,735
一般社団法人星つむぎの村	難病児・障害児に安心して自然体験できる機会を届けたい	405,795
特定非営利活動法人秋川流域生活支援ネットワーク	放課後等デイサービスで重症心身障害の子どもたちに笑顔を	458,584
特定非営利活動法人Lino	医療的ケア児とその家族に旅行「できる」という体験を	499,709
特定非営利活動法人スヌーズレンを普及する会	障がいのある子どもたちに特別な光の空間を	18,387
特定非営利活動法人プロジェクトサンタ	日本全国の病院にガチャガチャを設置して子ども達にワクワクを届けたい!	737,329
特定非営利活動法人みかんぐみ	ピアサポートでエンパワメント! 医療的ケア児・重心児とその家族を応援	500,736
特定非営利活動法人しぶたね	病気が障がいのある子どもの「きょうたい」の応援団を増やしてつながる研修事業	349,158
公益財団法人がんの子どもを守る会	小児がんの子どもとそのご家族に寄り添う相談窓口	176,340
特定非営利活動法人びくにくく	高齢者の介護予防のために「健康づくり講座」を開きたい	66,207
特定非営利活動法人釧路・根室権利擁護支援センター	届けたい! 笑顔と安心を。病気や障害を抱えながら暮らす人々へ	26,214
特定非営利活動法人ソマリッサ	引きこもりがちな高齢者が気軽に立ち寄れる、明るい地域サロンをつくりたい!	65,897
特定非営利活動法人魚沼地域医療連携ネットワーク協議会	医療過疎地の挑戦! ~魚沼地域全体で一つの病院をめざして~	500,000
特定非営利活動法人D-SHIP32	パラスポーツを通して障害のある子どもたちへ夢を与える!	377,558
一般財団法人日本京劇振興協会	中国伝統芸能「京劇」の振興活動と福祉支援	68,435
一般社団法人ATHLETE SAVE JAPAN	日本中で「いのちの教室」が毎日実施される社会を作りたい!	11,140
特定非営利活動法人アヴニールファーム	引退競走馬を通して考える命の大切さー地域の子どものためにー	81,430

※詳細は団体別のページをご覧ください。

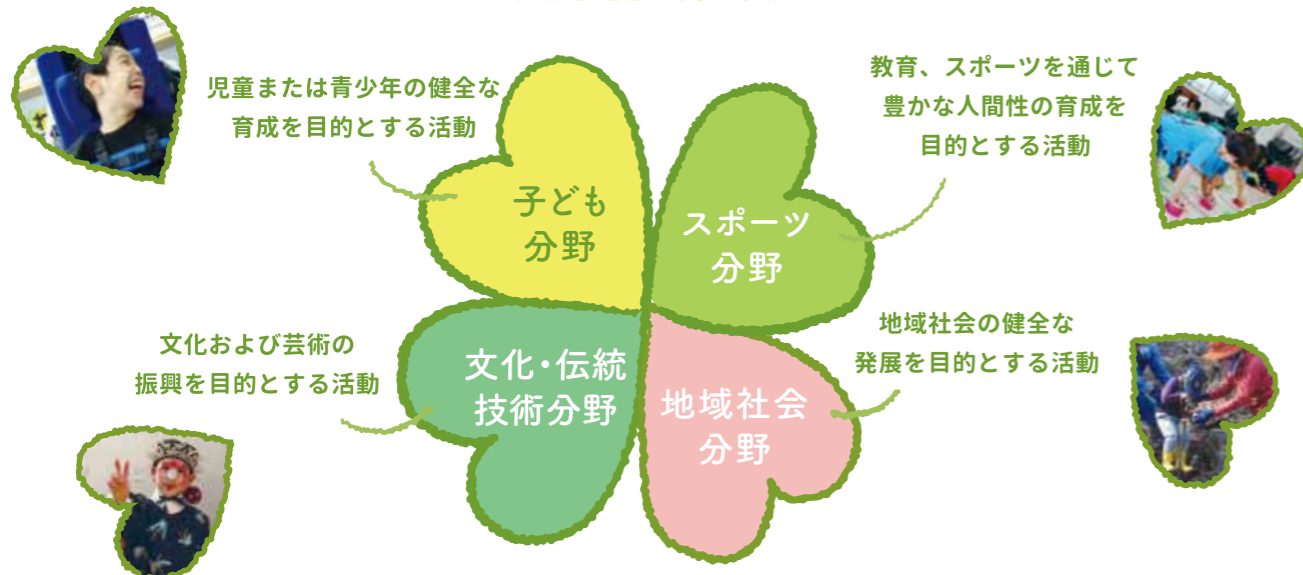


助成先団体のご紹介



第8期に助成先となった団体と、助成金で行った事業をご紹介します。皆さまのご寄付が、子どもたちや地域の人々など、支援を必要としている方々に喜びとともに届いている様子をご覧いただけたら幸いです。

助成する事業分野



子ども分野

貧困世帯の子どもに未来を拓く無料塾を



特定非営利活動法人 福岡教育サポート



寄付募集期間：2022/5/1～2023/3/31
助成申請額：1,152,000円
助成金額：517,924円



寄付募集期間：2023/5/1～2024/3/31
助成申請額：648,000円
助成金額：558,789円(2023/11/30現在)

私たちは「貧困世帯の子どもたちに学力と進路の保障を!」をスローガンに、すべての子どもたちに教育と進路の機会均等をサポートするNPO法人です。

一人親世帯など経済的に苦しい家庭の子どもは塾にも行けず、「経済格差=教育格差」となっているのが実情で、経済的理由で塾に行けない子どもたちに何か支援ができないかとの思いから、無償の学習塾「春日英数塾」を2016年にスタートさせました。

おかげさまで、当初は1教室で講師2人、生徒3名で始めた事業も、現在では3教室で講師16人、児童・生徒14名まで増やすことができ、今年度は中学3年生5名全員が第一志望校に合格することができました。

少しでも子どもたちの夢の実現をサポートしたいという私たちの願いは、皆さまのご支援のおかげで少しずつ形となってきています。改めてこれまでのご支援に感謝申し上げます。

今年の春は、生活保護世帯の高校3年生の生徒が大学進学を目指しています。何としてもこの生徒の希望をかなえるべく頑張っ て参ります。今後とも引き続きのご支援を何卒よろしくお願い致します。

子ども分野

経済困窮家庭の子どもたちに高校進学のための学習支援を



特定非営利活動法人 全国夜間中学ネット



寄付募集期間：2023/5/1～2023/5/31
助成申請額：260,000円
助成金額：260,000円

私たちは退職教員4名により2021年に設立したNPO法人で、神戸市東灘区で中学生を対象とした学習支援を行っています。

現職時代に、学習成績の低さにより自己肯定感が低く、自尊心を失いそうになる子どもたちを沢山見てきました。私たちは経済格差が学力格差を生み出していると考え、保護者の事情で家庭に十分な学習環境のない子どもたち、通塾したくても経済的理由でかなわない子どもたちを支援し、高校進学のために力になりたいという思いで活動を始めました。

皆様からのご支援で、子ども達が使う机・椅子・ホワイトボードを購入させていただきました。夏休みに入り、子ども達は新しい机と椅子を使って、公立高校への合格を目指して、ボランティアの大学生とともに学習に取り組んでいました。

発足して1年余り、ようやく子どもたちが学習する環境が整ってきたところですが、この活動が目前の子どもたちの未来にとっても、この地域にとってもよい循環となるよう、引き続き励んでまいります。

全国夜間中学ネットをご支援いただき、本当にありがとうございました。

子ども分野

フリースクールだからできる 後押しとは —前進したい子どもたち—



Kuraseito 特定非営利活動法人
International Christian School
クリエイト



寄付募集期間：2022/12/1～2023/12/31
助成申請額：998,175円
助成金額：762,732円 (2023/11/30現在)

私たちは、香川県さぬき市でフリースクールを行い、地域の多様な教育機会確保を目指す団体です。

この地域は子どもの数が減少し地域の小中学校は少人数クラスで運営されているにも関わらず、不登校数は年々増加の一途をたっています。地域の将来を支える子ども達が、一人でも多く元気を取り戻し堂々と社会参加する機会を得るように、2023年も毎日スクールを開きました。学習や生活だけでなく、多様な地域の人々や海外の人とも交流し、体験を通して子ども達の視野を広げ、明るい将来を思い描くことができるように工夫しました。

- ・2023年度定期フリースクール利用者：4名
- ・フリースクール利用を見据え他の活動に参加した人数：5名
- ・活動を紹介するパネル展の実施：2回
- ・地域交流等イベント実施：5回

いただいた助成金は、子ども達の学習用具や遊具、若手講師の育成費用等、活動を充実させるために使わせていただきました。

これからも地域の将来を担う子ども達のために、しっかりした土台に立ったフリースクール運営を続けてまいります。皆様の温かい応援に、スタッフ一同より感謝申し上げます。

子ども分野

不登校の子どもたちが生き生きと 過ごせる居場所を守りたい



特定非営利活動法人
ならはらの森なかの学舎



寄付募集期間：2023/5/1～2024/3/31
助成申請額：664,640円
助成金額：599,783円 (2023/11/30現在)

私たちは、八王子の西部の檜原町で、学校に行けなくて困っている子どもたちが生き生きとありのままに過ごせる場所を運営しています。

活動を始めてから約2年半。子ども5人、スタッフ2人だったのが、今現在、子ども65人、スタッフ・ボランティア13人となりました。ありがたいことに、私たちの活動を「いいね!」と言って下さる方の輪も広がってきており、様々な方に関わっていただいています。

お金をまわそう基金を通じていただいた皆様の御寄付のお陰で、現役の助産師の方をお招きし子どもと大人と一緒に受ける性教育のワークショップ「いのちのお話」、地域の方の手作りのカヤックを使った近くの川での「カヤック体験」など、地域の方たちのお力をお借りして貴重な体験を子どもたちに提供することができました。

子どもたちの安心・安全な居場所であるとともに、豊かな学びの場ともなれるよう、「あなたは、あなたのままだいい!」私たちはそんな思いで子どもたちと日々関わっています。

多くの方たちの真心とご支援に、心から感謝しております。ありがとうございました。

子ども分野

子どもたちが安心して過ごせる 居場所=フリースクールを守りたい



特定非営利活動法人
ネモちば不登校・ひきこもりネットワーク



寄付募集期間：2022/5/1～2022/12/31
助成申請額：500,000円
助成金額：500,000円
寄付募集期間：2023/5/1～2024/3/31
助成申請額：700,000円
助成金額：493,762円 (2023/11/30現在)

私たちは、不登校・ひきこもりの子ども・若者の居場所となるフリースクールの運営や、家族に対する相談事業を行っています。

今年度、「お金をまわそう基金」を通していただいたご寄付は、フリースクールにとって最も大切なスタッフの人件費の一部に充てさせていただきました。

2023年度は夏休み明けからお問合せや見学・体験が急増しており、新たに6名の子どもたちがネモに通い始めました(2023年12月時点)。

文部科学省が今年10月に発表した統計によると、2022年度の不登校の児童・生徒の数は過去最多の約30万人となり、前年度から約22%も増加しています。

私たちへのお問い合わせの急増は、そうした傾向に加えて、フリースクールオープンデーや保護者向け説明会など私たちのことを知っていただくための取組みを精力的に行ったことも一因と思われます。

引き続き、フリースクールネモが学校で生きづらい子どもたちにとって居場所となり、本人らしさを取り戻していける交流の場となるよう、スタッフ一同精一杯運営してまいります。

あたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございました。

子ども分野

大田区で困難に直面する小学生を 無料の塾・居場所で支える



特定非営利活動法人
ユースコミュニティー



寄付募集期間：2023/5/1～2024/3/31
助成申請額：600,000円
助成金額：511,806円 (2023/11/30現在)

私たちは、東京都大田区内の3カ所で生活困窮家庭の子どもたちに向けた学習・居場所支援を行っています。毎週ほぼ1回のペースで開催し、小学2年生～6年生の子ども達が25人在籍しています。

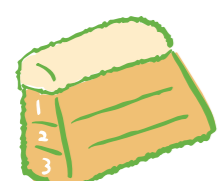
また子どもを支えるボランティアスタッフも約20名が参加。高校生のボランティアも多く活躍しています。

参加している子どもの多くは、ひとり親家庭、軽度の障害、外国ルーツ、そして最近では不登校を抱える小学生が多く参加しています。こうした子ども達は、自分の殻に閉じこもりがちで、なかなか心を開いてくれず、ボランティアが落ち込むことも多々ありました。

しかし寄付で支援をしてくださる皆様のお気持ちに支えられ、粘り強く寄り添いつづけた結果、今では子ども同士やまわりのスタッフともすっかり打ち解け、子どもらしさを徐々に取り戻しています。

頂いたご寄付は、ボランティアの交通費、大学生ボランティアの謝礼等に活用させていただきました。特に高校生にとって交通費を自己負担することは大変なので、皆様のお気持ちが非常に助かりました。

今後とも、私たちの活動を見守っていただけますと幸いです。



10代の子どもたちが心を開いて話せる 「LINE子どもしゃべり場」



私たちは、子どもたちが「いじめ」「虐待」「性暴力」など、身近な暴力にあわない社会を目指し、「人権」を伝える活動をしています。

2020年4月、新型コロナウイルス感染拡大を受け、全国の学校が休校になりました。行動を制限されストレスを感じている子どもたちの心を少しでも和らげたいと、子どもの気持ちを聴くチャット「LINE子どもしゃべり場」を開設しました。

週2回、LINEを通じて相談員と1対1で子どもたちの不安や悩みなどを共有。家庭や学校での悩み、自分の心やからだ、貧困やジェンダー、将来への不安など、さまざまなテーマで話が広がります。3年間で約3000人の子どもたちとつながり、誰にも言えない気持ちに寄り添うことができました。

子どもたちは、心に蓋をしてしまうと、すべての感情に鈍感になります。「誰かに話して助けてもらっていい」「あなたは大切な人」というメッセージを子どもたちに伝え、寄り添い話を聴く場所として、今後もこの事業を運営して参ります。

その必要性を理解し応援して下さる皆さまに、心より感謝申し上げます。

認定NPO法人
エンパワメントかながわ

寄付募集期間：2023/9/1~2024/3/31
助成申請額：900,000円
助成金額：197,478円 (2023/11/30現在)



学校が苦手な子が安心して過ごせる 居場所を地域に開いておくために



私たちは不登校の子どもたち向けに、その保護者や不登校経験者、地域の様々なボランティアさんと共に、ありのままの自分で行われる居場所づくりを行っています。

毎週月曜日に活動しており、お金をまわそう基金の助成先となつてからの2ヶ月間で、9回開催し、のべ20人の子どもたちを受け入れることができました。(2023年12月時点)

また、ボランティアの活動費を捻出できるようになったため、学生ボランティアに常駐してもらうことができるようになりました。子どもたちは年齢の近い学生ボランティアがいることで、大人のボランティア講師だけだった時と比べて、緊張する事が減り、たくさん話すようになました。

中学3年生の子の保護者の方からは、「みらぼてに来れば、年齢が近くて不登校の経験もある学生ボランティアのお姉さんがいつもいてくれる。家族や学校の友達以外で笑って話が出来る人がある場所は貴重でありがたいと、親としてもいつも感謝しています。」という声もいただきました。

あらためて、皆さまからのあたたかいご支援に感謝申し上げます。

特定非営利活動法人
みらぼて

寄付募集期間：2023/9/1~2024/3/31
助成申請額：292,000円
助成金額：181,478円 (2023/11/30現在)



子ども・若者のフリースペース Gumi 学び場プロジェクト



特定非営利活動法人Gumiの活動をご支援いただき、誠にありがとうございました。

お陰様で、不登校や引きこもりの子ども、若者のサードプレイス「フリースペースGumi」の開設をすることができました(名称を「Gumi」ではなく「colors」に変更して実施)。

また、eスポーツカフェやオンラインでの学び場等を通して、様々な体験や交流をする取り組みも実施することができました。

アンケートでは、参加した子どもたちの大半が「外出の頻度や人との交流の機会が増えた」「困った時に相談してみようと思える大人が増えた」と回答しました。また、「新たな目標を持ったり将来に向けて前向きに考えることが増えた」との回答もあり、当法人の活動が、子どもたちの他者との交流や、子どもが自身の将来について考えるきっかけを提供できたのではないかと思います。

子ども達は、多様な環境の中で着実に学びや気づきを得て成長します。子どもたちを、家庭だけでなく地域でも見守ることの重要性について今後も考え、様々な取り組みを実施していきたいと思ひます。

特定非営利活動法人
Gumi Gumi

寄付募集期間：2022/9/1~2023/3/31
助成申請額：600,000円
助成金額：312,919円



いじめの相談電話へのSOSに 24時間365日応えたい



いじめを受けているのに誰にも相談できず苦しんでいる子どもたちのために、2015年秋「いじめ撲滅」をテーマに実行委員会を立ち上げました。

2023年4月に佐賀県から公益認定を受け「公益社団法人ON THE ROAD」となりました。活動開始から9年目を迎え、佐賀市や教育委員会、地元の方々のご理解とご協力を得ながら、子どものSOSに24時間365日対応しています。

皆さまからのご寄付でいじめ相談ハガキを作成し、佐賀県内の小中学校のすべての児童・生徒に配布することができました。また、子どものもとに駆けつけるときの交通費にも充てさせていただいております。

今年度は前年度を上回る相談が寄せられており、70組を超える子どもと保護者の相談を受け伴走支援ができました(2023年12月時点)。心より感謝申し上げます。

ひとりで悩みを抱える児童・生徒や、いじめを止めることができずに苦しむ子どもが大勢います。

一分でも一秒でも早く子どもたちにいじめの解決と心のケアを届けられるよう、精いっぱい努めてまいります。

公益社団法人
ON THE ROAD

寄付募集期間：2022/5/1~2023/3/31
助成申請額：221,120円
助成金額：221,120円



寄付募集期間：2023/5/1~2024/3/31
助成申請額：399,264円
助成金額：146,437円 (2023/11/30現在)



宮城の中学校・高等学校に 地域の社会人との対話を届けたい



NPO法人ハーベストは、若者たちが多様な大人と出会う事で自分自身の持つ可能性に気づき将来の航路を見出すきっかけを提供するためのキャリアセミナーを、宮城県内の中高生たちに提供しています。

今年も皆さまからいただいたご寄付を基に、キャリアセミナーを12校で開催し、多くの中高生に自分自身と将来を考えるきっかけを作ることができました。

中学生の時にキャリアセミナーを受けた大学生から、「キャリアセミナーの講師から『夢・目標は声に出していこう！いろんな人に話そう！そうすると言葉で叶はずだし少なくとも夢に近づける！』と教えてもらいました。その後、意識して自分の夢を人に話すようになり、おかげで高校・大学では良い経験ができています。」という話がありました。

キャリアセミナーを重ねるたびに、個人の豊かな人生と多くの人の幸せが両立する社会は、一対一の相互理解の積み上げによって創られていくものだという思いを強くしています。

これからも、生徒たちが日常的に人と繋がり、対話できる場を増やしていきたいと考えています。引き続きよろしくお願い致します。

特定非営利活動法人 ハーベスト

Heart Best
ハーベスト



寄付募集期間：2022/5/1～2023/4/30
助成申請額：1,250,000円
助成金額：570,224円



寄付募集期間：2023/5/1～2024/4/30
助成申請額：800,000円
助成金額：324,856円（2023/11/30現在）

外国にルーツを持つ経済的に困難を 抱える高校生に進学機会を！



特定非営利活動法人 glolab



寄付募集期間：2023/5/1～2023/7/31
助成申請額：600,000円
助成金額：600,000円

私たちは、保護者の仕事等の都合で海外から日本にやってきた外国にルーツを持つ若者を対象としたキャリア教育を行っています。

昨年度から「NEWDOOR進学プレッププログラム」というプログラムに取り組んでいます。これは、奨学金受給に制限のある在留資格を持つ生徒を対象として、進学の道を切り開くお手伝いをするための、年間を通じて行うキャリアプログラムです。

今年度、お金をまわそう基金を通じたご寄付により、7名の生徒に日本語作文教室とキャリアワークショップを届けることができました。

2023年6月からこれまで、月1回の日本語作文教室、2か月に1回のプログラムを提供してきました。有資格者の日本語教師による日本語作文教室では、日本語に苦手意識をもっていた生徒からも「少しずつ日本語がわかるようになってきた」という声も聞こえます。

先日、このプログラムに参加してきた生徒が奨学生として大学に合格しました。1期生にして初の大学合格者で、私たちも嬉しい気持ちでいっぱいです。

これからも皆さんのお力をお借りしながら外国にルーツを持つ高校生を応援していきたいと思えます。

四国の中高生たちに「世界に広がる 進路の選択肢」を伝えたい！



特定非営利活動法人 みんなの進路委員会



寄付募集期間：2023/9/1～2024/3/31
助成申請額：434,000円
助成金額：144,478円（2023/11/30現在）

私たちは、全国の中高生を対象に、海外大学進学経験者と一緒に自身の進路について考える出前授業を実施しています。出前授業を通じて、何となく進路選択をしている中高生が、より広い世界を知った上で「自分には将来を選んでいく力がある」ことを認識し、主体的に進路を選択する力をつけることを目指しています。

今回の助成事業では、全国の中でも海外進学をする中高生が特に少ない地域である四国地方にフォーカスして、出前授業を実施しました。

出前授業に参加した生徒からは、「こんな選択肢があることを知らなかった」、「自分の将来を考える上でとてもいい機会になりました」等の感想をいただきました。

また、過去に出前授業を受けた高知県の生徒が実際に海外の大学を受験しました。自分で進路を考えて行動したことは、その生徒にとって大きな自信につながるのではないかと思います。

皆さまからのご寄付は、徳島県・愛媛県・高知県での出前授業実施時の交通費、講演者への謝礼金のために使わせていただきました。あたたかいご支援を頂き本当にありがとうございました。

10代の若者たちの“未来を生き抜く力”を育む授業『みらいteacher』



特定非営利活動法人 アスリード

寄付募集期間：2022/5/1～2023/3/31
助成申請額：800,000円
助成金額：415,192円

アスリードでは学校・地元企業・地域の大人たちと連携しながら、若者たちの未来につながるさまざまな体験と情報を提供しています。いただいたご寄付は、地域の社会人を講師とした中高生へのキャリア教育（職業講話）の運営費として大切にに使わせていただきました。

今年度は延べ192社の企業様にご協力いただき、5,212名の若者にキャリアについて考える機会を届けることができました。職業講話を受講する前に「自分の将来」や「社会に出て働いていく」ということについて「前向きに捉えている」と回答した生徒は僅か25%でしたが、受講後は75%の生徒が「前向きな気持ちになった」と回答し、ポジティブな変化を起こすことができました。

社会人（第三の大人）との出逢いは、今後のキャリアを考えるうえで必要な「仕事理解」・「自己理解」を深め、将来への不安を軽減し、チャレンジ精神や自己肯定感を育むことができると考えています。これからも私たちの取り組みを社会全体へ広げていけるよう、活動して参ります。あたたかいご支援をいただき、誠にありがとうございました。

孤育て中の親を支え 親子がともに育つ子育てサロン



私たちは、地域での孤育てを無くし、親子が育ち合う居場所としての「子育てサロン」を運営しています。皆様からの御支援は、子育てサロン運営のために必要な家賃とお手伝いに来て下さる方やスタッフへの交通費・謝礼として使わせていただきました。この度皆様から当法人の事業に御寄付を戴きまして、心より感謝申し上げます。

子育てサロンは親子の遊び場を基として親子向け、子ども向け、親向けの内容で毎日開いていますが、ようやく1日に2~3組の親子が集うようになり、コロナ禍前の賑わいを取り戻しつつあります。

また、最近は育児全般についてのほかに「ひと時保育」についての問い合わせが多くなり、必然的にひと時保育を利用される親子が増えている状況です。また、より多くの困っている保護者の方に私たちの取組を知ってもらえるよう、地域の保育園と連携し、活動の輪を広げていく取り組みも行っています。

子育て環境が年々変化していく状況の中で、親子にとって何が大切な事なのかを自然に体感して貰えるように、スタッフのスキルアップも図りながら親子に関わっていきたくと考えています。

特定非営利活動法人 子育てサロンすくすく



寄付募集期間：2022/5/1~2023/3/31
助成申請額：872,320円
助成金額：586,144円



寄付募集期間：2023/5/1~2024/3/31
助成申請額：513,000円
助成金額：369,789円(2023/11/30現在)

国内の漆生産量を増やし、 漆文化を次の世代に！



私たちウルシネクストは、存続の危機にある天然素材「漆」と漆文化を次の世代に伝えていきたいという思いから、「漆を増やす・活かす・使う・伝える」という活動を行っています。

昨年度は、皆さまからのご寄付によって、会津若松市の新たな植栽地にウルシ苗200本を植樹することができました。

また、飯館村と会津若松市という福島県の2つの地域で連携し、苗木の成長に伴い狭くなった畑の生育環境を整えるため、飯館村のウルシ苗200本を会津若松市の畑に植え替える作業も行うことができました。

自然が相手なので、雨や雪、気温の変化などの影響でこちらの予定通りにはいかないことも多々あります。また、苗から育ててウルシを採取するまでには、相当の手間と長い時間がかかります。

しかし、「漆」は自然の恵みを上手に活かし、モノを長く大切に使い、自然と共生した日本人の生活文化の象徴でもあります。

先人たちから受け継いだ漆の文化を次の世代に伝え、そして漆をもっと社会に役立てるために、これからも活動していきます。いつもあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。

特定非営利活動法人 ウルシネクスト



寄付募集期間：2022/12/1~2023/11/30
助成申請額：660,516円
助成金額：660,516円

米崎りんごを通じて子どもたちに 陸前高田で生きることを伝えたい



NPO法人LAMPの活動にご支援いただき、ありがとうございました。

震災後、急激な人口減少が止まらない岩手県陸前高田市において、地域のことや地域で働くことを子どもたちに知ってもらうために、米崎りんご農園での職場体験を実施し、小学生から高校生まで幅広い年代の子どもたち154名が参加しました。また、新たに学童から子どもたちを受け入れることができたのも大きな成果です。

子どもたちの中には、小学校・中学校・高校と継続して職場体験に参加してくれた子もいました。それまでの体験により、米崎りんごや地域について関心を持ち続けてくれたことがわかり、事業実施の大きな励みとなりました。

陸前高田市には、米崎りんごをはじめとして、地域の子どもたちにも十分に知られていない魅力がいくつもあります。今回、皆様からのご支援により、職場体験を通じて多くの子どもたちに地域の文化や産業に関心を持ってもらうことができました。彼らが大人になり、陸前高田市で生き生きと生きていけることを願っています。ご支援をいただき、本当にありがとうございました。



特定非営利活動法人 LAMP



寄付募集期間：2022/9/1~2023/4/30
助成申請額：933,000円
助成金額：298,375円

児童養護施設を退所した子どもを支援！ お米と言葉を届ける『実家便』



公益財団法人
あいである あいである



寄付募集期間：2022/5/1~2023/3/31
助成申請額：366,520円
助成金額：262,924円



寄付募集期間：2023/5/1~2024/3/31
助成申請額：860,544円
助成金額：174,638円 (2023/11/30現在)

あいであるでは、児童養護施設を退所し自活を始めた子どもに、6月と12月の年に2回、退所した年から5年にわたり計10回、食品や生活用品、防災用品を詰めたギフトBOX「実家便」を送っています。

2023年は、6月・12月に合計1443個の実家便を子どもたちに発送することができました。お金をまわそう基金の助成金は、実家便に入れる「お米」の購入資金として充当させていただきました。

「実家便」には、長持ちし重宝されるお米の他、手軽に料理できる缶詰やカレー・スープ等のレトルト食品、チョコレートやスティックコーヒー等を入れ、色々楽しむことができるよう工夫しています。

また、「実家便」には施設職員からの手紙や賛助会員からの応援メッセージを同封しています。児童養護施設を巣立ち、一人暮らしをしている子どもたちがメッセージを読んで、「離れていても施設とつながっている」「社会全体で見守ってくれている」と感じてもらえるよう願っています。

これからも「実家便」を通じて児童養護施設を退所し自活している子どもたちを「モノ」と「気持ち」の両面でサポートできるよう活動してまいります。

高等学校の中に 居場所カフェ、開きます！



特定非営利活動法人
ハイティーンズサポートちば



寄付募集期間：2022/5/1~2023/3/31
助成申請額：77,424円
助成金額：77,424円

私たちの活動をご支援いただき、誠にありがとうございました。ハイティーンズサポートちばでは、貧困や虐待など問題を抱えた高校生への食料無料配布会と、高校生が安心して立ち寄ることのできる居場所カフェの運営を行っています。

当事業では、千葉県内唯一の公立通信制高校である千葉大宮高校で、食料無料配布会を5回(のべ1450名参加)、居場所カフェを2回(のべ60名参加)開催しました。

米の配布は、精米や運搬、袋詰め等、他の食料品と比べて遥かに手間のかかるものですが、何度も食事に使えるというメリットは大きく生徒たちは毎回心待ちにしているため、食料無料配布会では欠かさず配布しました。

通信制の生徒は月に多くても2~3回の登校のため、孤立しがちで、生活実態がつかみにくいのが現状です。食料無料配布会や居場所カフェの現場で生徒から漏れ聞く声が多くあり、家庭崩壊の実態や将来への不安など、なかなか教員には言いにくいであろう内容が出てくることもあります。

孤立と不安に苦しむ高校生を支援するために、今後も継続して実施していきたいと考えています。

大学進学率が2割にも満たない児童 養護施設の子どもたちに支援金を！



特定非営利活動法人
タイガーマスク基金



寄付募集期間：2022/12/1~2023/5/31
助成申請額：3,360,560円
助成金額：3,360,560円

タイガーマスク基金は、児童養護施設や自立援助ホームなどの社会的養護の施設から四年制大学に進学する学生に、返済不要の奨学金を届けています。

皆さまからのご支援により、このたびは大学3年に進級した学生17名と4年に進級した学生17名、合計34名に、一人あたり10万円、総額340万円を給付することができました。

2012年から活動を継続し、これまでに1,000名を超える学生に8,000万円以上の支援金を届けることができております。これも、継続して応援いただいている皆さまのお陰と心より御礼申し上げます。

10年前は貸与型奨学金しかなく、18歳で児童養護施設を退所する子どもたちに、進学はかなわない夢でした。社会的養護の現状や支援の必要性について徐々に理解が進み、彼らへの支援の仕組みは改善されつつありますが、それでも児童養護施設の子どもたちの進学率は2割にもならず、仕送りがない学生たちの困難は続いています。

引き続き、国際的に見ても子ども・子育て関連の支援が少ない現状を変えるべく、取り組んでまいります。今すぐ支援が必要な学生たちのために、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

出張子ども食堂で 支援の輪を広げたい！



一般社団法人
天理文化の会



寄付募集期間：2022/5/1~2023/1/31
助成申請額：215,000円
助成金額：215,000円



寄付募集期間：2023/5/1~2024/3/31
助成申請額：400,000円
助成金額：209,155円 (2023/11/30現在)

当団体では、子ども食堂の運営に加え、放課後子ども教室、心理相談室を無料で提供しています。

子ども食堂で他の支援も必要な家庭を発見し、心理相談等につなげることで深刻な問題が発生する前に速やかに対処できることが強みです。行政の手の届かない早い段階で隠れた貧困家庭などを支援するために、私たちは活動しています。

お金をまわそう基金の助成金を使わせていただいた事業では、子ども食堂がなく支援の手が届かない地域に出張し食料を提供する「出張子ども食堂」を実施しました。

「出張子ども食堂」では、年齢以外に制限を設けずにお弁当を配布し、どんな状況の子でも気兼ねなく来ることができます(毎月開催・参加人数平均約60人)。「毎月のお弁当楽しみ!」と言って毎月来る子どもや、保護者がいます。やってよかったと思う瞬間です。

子ども食堂を続けていく中で、ようやく見えてくる家族構成や、貧困の深刻さがあります。この活動は一過性に終わらないことが大切なので、子どもたちが抱える課題を見落とさないよう継続して実施し、必要な支援につなげていきたいと思えます。

難病児・障害児に安心して 自然体験できる機会を届けたい



一般社団法人 星つむぎの村



寄付募集期間：2022/5/1～2023/4/30
助成申請額：498,000円
助成金額：406,097円



寄付募集期間：2023/5/1～2024/4/30
助成申請額：414,000円
助成金額：194,735円 (2023/11/30現在)

星つむぎの村は、病院や障害児施設などに星空を届ける「病院がプラネタリウム」など、みんなで一緒に星を見る機会を作っています。

2023年度は自然体験が不足しがちな難病児や障害児に、安心して自然の中で遊んだり学んだりできる場を提供したいと考え、「自然のめぐみ・いのちのつながりプロジェクト」を開催しました。5月～12月に8回開催し、延べ100名を超える子どもたちが参加しました。

プロジェクトでは、野菜の栽培や季節を感じるクラフトや科学工作などを実施しました。6月の梅もぎ、7月の芋ほり、9月の栗拾いは、すべてオンラインで実施し、梅から作った梅干しや梅ジャムなどは子どもたちのもとに届けました。季節の工作も、できるだけ落ち葉や木の実などの自然素材を使い、子どもたちが手ざわりや匂いを感じられるようにしました。

プロジェクトの場は、健常児も含めた子ども同士の交流の機会ともなっています。

皆様からのご支援は、プロジェクトの運営費に充てさせていただきます。ご支援くださいまして本当にありがとうございました。これからも皆さんと一緒に星空を見上げていきたいと思っています。

放課後等デイサービスで 重症心身障害の子どもたちに笑顔を



特定非営利活動法人 秋川流域生活支援ネットワーク



寄付募集期間：2022/5/1～2023/3/31
助成申請額：479,600円
助成金額：405,924円



寄付募集期間：2023/5/1～2024/3/31
助成申請額：419,450円
助成金額：308,783円 (2023/11/30現在)

「わいわいくらぶ」は重症心身障害児を受け入れる放課後等デイサービスを運営しています。

生活において、ほぼすべてに「全介助」を必要とする子どもたち。日常生活の中でも最も介助を必要とするのが「入浴」だといわれています。入浴には人手が必要であり、特に中高生を入浴させるのはかなりの重労働になります。わいわいくらぶが所在する地域ではまだ訪問看護などの福祉サービスが十分に整っていません。子どもの生活の多くが家族の負担によって成り立っているなかで、入浴サービスを受けられることは家族にとって大きな助けとなっています。

私たちは、保護者からのニーズに答えるべく入浴支援を行っており、そのために支援員を一人多く配置しています。

お金をまわそう基金の助成金は、「入浴サービスに係る人件費」に充てさせていただいています。

助成金を頂くようになって今年で5年目になりますが、皆さまのご寄付のおかげで長年にわたり、安全に入浴支援を継続することができています。子どもたちの健康と保護者の負担軽減に寄与できることに心から感謝しております。

医療的ケア児とその家族に 旅行「できる」という体験を



寄付募集期間：2023/5/1～2023/12/31
助成申請額：546,790円
助成金額：499,709円 (2023/11/30現在)

私たちは、外出の難しい医療的ケア児や障害を持つ子とそのご家族が安心して旅行できるように、医療従事者が付き添って様々なサポートをするLinoツアーを行っています。

今年は、皆さまからのご寄付により6月に1泊2日でユニバーサルスタジオジャパン(USJ)へのツアーを実施することができました。ツアーに参加されたご家族は全部で5組14名、医療従事者含め大人のスタッフは9名、子どものボランティア1名も合わせると総勢24名のツアーとなりました。

Linoツアーでは、お子様について「新しい発見があった」という声をいただくことが多くあります。

サポートがあることで生まれる気持ちの余裕から、普段はじっくり見られないお子様の表情の変化をご家族が客観的に見ることができたり、ご家族の皆さんが写っている写真を思い出として残すことができたり、普段とは違う形でご家族が関わりあえるのも、Linoツアーの醍醐味の一つです。

今後も、活動を通して、ここでしか体験できない思い出を、ご家族の皆さまに提供してまいります。この度は温かいご支援を、誠にありがとうございました。

障がいのある子どもたちに 特別な光の空間を



特定非営利活動法人 スノーズレンを普及する会



寄付募集期間：2022/5/1～2022/12/31
助成申請額：210,000円
助成金額：210,000円

NPO法人スノーズレンを普及する会にご支援をいただき、ありがとうございました。

一般の子どもたちに比べると、重度の障害を持つ子どもたちは外で自由に遊んだり、様々なレクリエーションを楽しむ機会を多く持つことができません。私たちは、そのような子どもたちに少しでも楽しみを提供するために、ブラックライトパネルシアターやスノーズレン用品の貸出しを無料で行っています。

通常貸出先の事業所に往復の送料を負担頂いていましたが、皆様にご支援いただき、全国約60カ所の貸出先に送料も無料で子どもたちに体験を届けることができました。

ブラックライトパネルシアターやスノーズレン体験に参加したご家族から「子どもたちが歓声を挙げたり、手を上げて伸ばしてみたりと様々な反応がみられ楽しんでた様子だった」という声を聞くと、子どもたちの人生に少しでも彩りを加えることができたと感じられ、これ以上の喜びはありません。

今後も、一般の子どもたちより楽しみの機会の少ない障がいのある子どもたちに、普段とは違った幻想的な体験を届けていきたいと思っています。

日本全国の病院にガチャガチャを設置して子ども達にワクワクを届けたい！



私たちは、病院で療養中の子どもたちがワクワクする体験ができるように、病院へのガチャガチャの設置を行っています。皆さまからいただいたご寄付は、病院へのガチャガチャの設置と、景品の補充のために大切に使用させていただきました。

ガチャガチャは、療養中の子どもたちが日々の治療やリハビリに向き合う力を与えてくれます。ベッドから降りることができなかったお子さんも「ガチャガチャできるよ」という言葉がけでベッドから降りられるようになっていったというお話もお聞きしました。私たちが思っている以上に、現場ではガチャガチャが子どもたちの力となり励みとなっています。

投薬で半年毎に入院が必要な3歳児さんのご家族から、「今回の入院では『ガチャガチャしたいから頑張る！』とガチャガチャを励みに検査や治療を頑張ることができました。出てきた景品のおもちゃを嬉しそうに家族や先生に見せて回っていました」という嬉しい報告もありました。

皆さまからのあたたかいお気持ちを大切にこれからも支援活動を続けて参りたいと思います。



特定非営利活動法人 プロジェクトサンタ



寄付募集期間：2023/5/1～2024/4/30
助成申請額：801,900円
助成金額：737,329円 (2023/11/30現在)

病気や障がいのある子どもの「きょうだい」の応援団を増やしてつながる研修事業



NPO法人しぶたねの「きょうだい」に寄り添い応援する人を増やすための活動にご支援いただきありがとうございました。

私たちは、病気や障がいのある子どもの「きょうだい」のために活動を行っています。「きょうだい」は寂しさや憤り、自責感などの複雑な気持ちを抱えながら成長するため、その影響から心身のバランスを崩したり、大人になってからの生きづらさにつながることもあります。

いただいたご寄付は、病院などの現場や地域できょうだいに寄り添う応援団を増やしつなげるためのシブリングサポーター研修や、情報発信の場を整えるための活動などに使用させていただきました。

きょうだいを支援する人のための研修は14回（福岡3、東京3、北海道2、岩手、愛知、大阪、広島、神奈川）開催し、445名の方に参加いただくことができました。研修に加え、Webサイトのリニューアルを行い、全国のサポーターがいる施設や団体を探せるリストや、実践のアイデアの発信も開始することができました。

今後も、シブリングサポーター同士のつながりを活かし、各地のきょうだい支援の広がりに貢献していけるように努めてまいります。



特定非営利活動法人 しぶたね



寄付募集期間：2022/5/1～2023/3/31
助成申請額：846,281円
助成金額：846,281円

ピアサポートでエンパワメント！ 医療的ケア児・重心児とその家族を応援



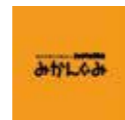
みかんぐみは、社会との接点が少なく孤独感を感じやすい医療的ケアや重度な障がいがあるお子さんとその家族に「だいじょうぶだよ」を届ける活動をしている当事者団体です。

当団体は杉並区より委託を請け、杉並区在住の医療的ケア児の保護者を対象に、ピアスタッフ（同じような状況ですでに生活を行っている先輩保護者）による交流会を実施しています。年間6回の交流会を開催し、1回平均2名の保護者が参加されました。参加した保護者からは「言葉にできない不安・心配などを話せる場」として高い評価をいただいています。

皆様からのご寄付は、ピアスタッフの人件費等に充てさせていただきました。参加者の孤独や不安に向き合うためには、ピアスタッフの経験が何よりの強みになります。

この事業を善意ありきではなく地域に根差したものにしていくためには、ボランティアとしてではなく、ピアスタッフとして「対価」を得ながら活動することが大切なことだと考えています。

温かいご支援でピアスタッフを支えていただきましたことに、改めてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



特定非営利活動法人 みかんぐみ



寄付募集期間：2022/5/1～2022/12/31
助成申請額：532,000円
助成金額：532,000円



寄付募集期間：2023/5/1～2024/3/31
助成申請額：532,000円
助成金額：284,859円 (2023/11/30現在)

小児がんの子どもと そのご家族に寄り添う相談窓口



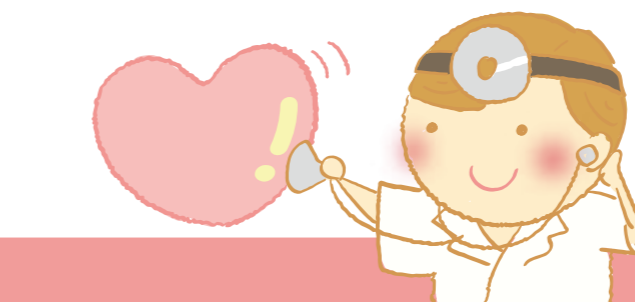
公益財団法人 がんの子どもを守る会



寄付募集期間：2022/5/1～2023/3/31
助成申請額：300,000円
助成金額：154,756円



寄付募集期間：2023/5/1～2024/3/31
助成申請額：300,000円
助成金額：118,759円 (2023/11/30現在)



高齢者の介護予防のために「健康づくり講座」を開きたい



特定非営利活動法人
びくにつく
健康づくり講座



寄付募集期間：2022/9/1～2023/3/31
助成申請額：600,000円
助成金額：87,217円

NPO法人びくにつくの「高齢者健康づくり講座 開催事業」にご支援をいただきありがとうございました。

私たちは地域の高齢者の方のフレイル予防を目的とした「高齢者健康づくり講座」を開催しています。健康づくり講座では、体操で体を動かすだけでなく、「瀬戸の花嫁」や「北国の春」などの名曲を歌うことで、のどの筋肉を鍛え、誤嚥性肺炎を予防を目指しています。

コロナウイルス感染拡大防止のための制限がかかる中での活動でしたが、高齢者のための健康づくり講座を合計23回実施し、のべ638人の方に参加いただくことができました。

コロナ禍において、家にこもりがちで、孤独に陥りやすい高齢者の方にとって、他者とつながりを持ち、楽しみを共有できる時間・居場所が地域にあるということは大きな支えとなります。

今後も地域の高齢者の心と体の健康の維持と、高齢者とそのご家族がともに笑顔で過ごせることを目指し「高齢者健康づくり講座」を続けてまいります。

引き続き、私たちの活動にご理解・ご協力いただければ幸いです。

届けたい！笑顔と安心を。病気や障害を抱えながら暮らす人々へ



特定非営利活動法人
**釧路・根室権利擁護
支援センター**



寄付募集期間：2022/5/1～2023/3/31
助成申請額：61,410円
助成金額：61,410円

私たちは、釧路・根室地域を中心に権利擁護（※）支援（当たり前の生活を送るための支援）活動を行っています（※権利擁護：高齢者や障がい者など、立場が弱いとされている方の権利を守るための取り組み）。

「生活費を引き出して好きなものを買う」「行きたいところに行く」等の「当たり前」と思われることが、年を重ねると難しくなることがあります。

公的な介護サービスや障害福祉サービスも、全てのニーズには答えられていないのが現状です。そこで私たちは、預金の引出し、各種支払い、買物の代行支援など、公的なサービスのすき間を埋めるきめ細かな支援を展開しています。

今回は、延べ25名の方へ支援を実施し、必要に応じて成年後見制度の利用等につなげるなど、権利擁護支援に努めました。また、自治体や関係機関との対話や勉強会を開催し、成年後見制度やその利用促進に係る中核機関の設置に向けた課題等の共有を行いました。

今後も、支援が必要な方に寄り添い、支え合う社会の実現を目指し取り組んで参ります。ご支援をいただき、誠にありがとうございました。

引きこもりがちな高齢者が気軽に立ち寄れる 明るい地域サロンをつくります！



sonrisa 特定非営利活動法人
NPO法人ソンリッサ **ソンリッサ**



寄付募集期間：2022/5/1～2023/3/31
助成申請額：360,000円
助成金額：104,543円

群馬県内に孤立・孤独状態の高齢者は約38,000人います。NPO法人ソンリッサは、地域の間関係の希薄化・孤立化による高齢者が抱える孤独感や寂しさという課題を解決し、生き活きと笑顔で自分の役割を持ち、活動的な状態になるようにサポートしています。

昨年度は、コロナ禍による社会的孤立、身体および認知機能が低下等を予防するための健康講座、ヨガ講座、整体講座などの、高齢者の健康に関する地域サロンを年間31回開催し、累計421名の方にご参加いただきました。

皆さまからのご支援は、サロンの運営にかかる費用に使わせていただきました。ご支援いただき、本当にありがとうございました。地域サロンを継続的に開催することは、参加者や地域のステークホルダー（自治会や民生委員等）と顔の見える関係を築くことにつながり、地域での困りごとや現状について生の声を拾いやすくなることができます。

これからも現場の声を聞きながら、地域の高齢者の方々に向けて人と触れ合う機会の提供や生きがいの創出ができるよう、地域と連携して取り組んでいきたいと思っております。

医療過疎地の挑戦！～魚沼地域 全体で一つの病院をめざして～



特定非営利活動法人
魚沼地域医療連携ネットワーク協議会



寄付募集期間：2022/12/1～2023/8/31
助成申請額：500,000円
助成金額：500,000円

私たちは、新潟県の魚沼医療圏で医療介護連携ネットワーク「うおぬま・米（まい）ねっと」（以下、米ねっと）の運営を行う団体です。

当地域は山間地を含む広大な面積であり、高齢化・医療資源不足などの課題を抱えています。限られた医療資源で医療・介護サービスを十分に提供するための一つの連携ツールとして、米ねっとは活用されています。

この度、助成いただいた金額は、2023年度の住民向け普及・広報事業に活用させていただきました（コミュニティFMのCM放送延べ64回、住民向けチラシの印刷・配布（10,000部印刷、2023年12月までに約6,000部配布）。

広報活動をする中で、以前より加入している方から、「親の在宅介護をする中で、医療と介護の担当者間で米ねっとを使った素早い情報共有がされていることが、安心につながった」などの声を聞く事もできました。

ご支援いただいた皆さまへは誠に感謝申し上げます。今後もさらに高齢化は進み、医療・介護のニーズは高まり続けると想定されますが、当地域の医療・介護を連携ツール運営という側面で支えていきたいと考えています。

パラスポーツを通して障害のある子どもたちへ夢を与える！



D-SHIPS32 特定非営利活動法人ディーシップスミニ

寄付募集期間：2022/5/1～2023/3/31
助成申請額：612,395円
助成金額：612,395円

D-SHIPS32は、障害者と健常者が『体験』を共有することで、子どもたちが夢を持って挑戦できる精神を育て、当たり前が当たり前になる共生社会を目指しています。中でも、誰でも楽しめる障害者スポーツを共生社会実現のための1つの手段だと考え、昨年度は主に以下の活動を実施しました。

- ・パラスポーツ大会
子どもから大人まで参加でき、自治体と共同して地域活性にも取り組みます。岡山県や長野県等6地域で開催し約500名の方が参加しました。
- ・パラ大学祭
大学生が主催し障がい者スポーツを通して共生社会を自分ごとで捉えられるきっかけにする目的で実施。約120名の大学生が主体となり企画・運営に参画しました。また、東京都・江東区からの後援や2020オリンピック・パラリンピック1周年記念事業としても採択されました。

皆さまからのご寄付は、これらのイベント実施のための運営費のために使わせていただきました。イベントを通して全国各地でパラスポーツへの関心が進み、共生社会への理解を深めることができました。あたたかいご支援に、心から御礼申し上げます。

中国伝統芸能「京劇」の振興活動と福祉支援



一般財団法人 日本京劇振興協会

寄付募集期間：2022/5/1～2023/3/31
助成申請額：320,000円
助成金額：135,445円

私どもは中国伝統芸能「京劇」の日本での普及活動に務めている団体です。昨年度はこれまでご支援いただいていた養護施設等への訪問京劇公演（慰問）に加え、我々が長らく実施している青少年の文化体験事業につきましても助成事業の対象とさせていただきます。

青少年の文化体験事業としては、ワークショップを2回実施した他、練習を重ねた13名（うち子ども8名）が「日本京劇芸術祭2023」へ参加し、舞台の上で活躍しました。慰問公演は東京都の「デイ・ホーム上北沢」にて実施し、21名の利用者の方と5名の職員の方に、京劇の魅力を伝えることができました。老人ホームへの慰問は当団体では初の取り組みで、福祉分野における新たな実績を作ることができました。

皆さまからのご寄付は、これらの事業の運営にかかる費用として大切に使わせていただきました。どうもありがとうございました。

これからも京劇が次代を担う青少年が福祉や国際社会に意識を向けるきっかけのひとつとなり、豊かな日本の未来が開かれる一助となることを目指し、活動を続けてまいります。

お金をまわそう基金×休眠預金活用事業

2019年度、休眠預金等活用法^{※1}に基づく資金分配団体^{※2}として公益財団法人お金をまわそう基金の「医療的ケア児と家族の夢を寄付で応援！」事業が採択され、2023年3月に3年間の事業が終了しました。

本事業では、医療的ケア児とご家族が社会から孤立することなく、安心して楽しい思い出をつくりたい夢や希望をもって生活することができる社会を目指し、それぞれの団体が事業を展開しました。

事業開始とともにコロナ禍に見舞われ、活動が制限される苦しい時期もありましたが、寄付や応援の言葉を通して3年間ご支援をいただきました皆さまに、心より感謝いたします。

本プログラムの特徴



マッチング寄付

みなさまからの寄付に休眠預金等に係る資金から寄付額の3倍を加えて助成をします。



休眠預金等活用法

当基金は、休眠預金等活用法に基づく資金分配団体です。



SDGs

持続可能な開発目標 (SDGs) 「3:すべての人に健康と福祉を」「10:人や国の不平等を無くそう」に関連する事業です。

▼詳細はコチラ



※1「休眠預金等」とは、10年以上入出金等の取引がない預金等のことを指します。預金が「休眠預金等」となった場合、預金保険機構に移管され、最終的に「民間公益活動」の促進に活用される資金のことです。この制度により、社会の諸課題の解決に結びつく事業の創出と普及が加速するとともに、民間公益活動の担い手およびその支援の担い手の育成、効果的・効率的な成果評価の実施や情報公開の仕組み等の環境整備が期待できます。

※2「資金分配団体」とは、民間公益活動を行う団体（実行団体）に対して助成、貸付け又は出資を行う団体です。

医療的ケア児も重症心身障害児も家族との当たり前の日常を愉しめる社会へ



Lino 特定非営利活動法人 —NPO法人 Lino— Lino

総事業期間：2020/6/1～2023/3/31
助成金額：1年目2,976,120円
2年目3,486,300円
3年目4,389,166円

私たちは、障害の有無や程度に関わらず、誰もが安全に、そして充実した生活を送る事が出来るように、医療的ケア児とその家族の旅行のサポートや映画の上映会を行っています。

医療的ケア児を含む重症心身障害児・者とその家族にとって、家族の介護負担が大きく、休日の外出・旅行は非常に困難です。休眠預金活用事業を通して、そのような家族に対して医療従事経験のあるスタッフがサポートをし、期間中に映画館での上映会を合計31回、沖縄やテーマパークへの旅行を合計9回実施することができました。

3年間の休眠預金活用事業中には上記の活動を行えただけでなく、それまで脆弱であった団体の組織基盤を整備することができ、またプロボノの方をはじめとした多くの協力者の方々とのつながりを得ることもできました。

事業を最後まで実施することができたのは、休眠預金に加えて、皆様からご寄付をいただいたからこそです。本当にありがとうございました。

3年間で学んだことを活かしながら、事業は引き続き継続していきます。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

外出が困難な離島在住の医療的 ケア児と家族の応援プロジェクト！



公益社団法人 難病の子どもとその家族へ夢を



総事業期間：2020/6/1～2023/3/31
助成金額：1年目4,266,950円
2年目2,151,400円
3年目5,590,550円

私たちは、医療的ケア児とそのご家族を対象に、非日常を楽しむ家族全員旅行や交流イベントなどを企画・実施しています。今回の休眠預金事業では、沖縄在住のご家族を対象に東京や大阪への家族全員旅行や交流イベントを実施したほか、支援に関わる多様な方々へのアンケートやヒアリングをもとに、ご家族へのより良い支援のあり方について調査・検討等を行いました。

家族全員旅行は12回（23家族参加）、交流イベントは8回（約300名参加）実施することができ、参加したご家族からは「多くのサポートを受け独りではないと実感した」、「外に出かける勇気と自信を持って」等の前向きなコメントをいただきました。

また、ご協力いただいている企業の方々やボランティア、医療関係者等へのヒアリングやアンケート（約700名分）からは「彼らと時間を共に過ごすことで初めて得られた理解や気づきがあった」、「この経験を仕事でも活かしたい」という声が多く見られました。

本事業を通して、当事者と彼らに関わった方々により、インクルーシブな社会へと歩みを進めていくことができました。多くの皆様のご支援のお蔭で本事業を実施できたことに、改めて御礼申し上げます。



医療的ケアが必要な難病児 ご家族の励ましあいをサポート



公益社団法人 ア・ドリームア・デイIN TOKYO



総事業期間：2020/6/1～2022/4/30
助成金額：1年目267,116円
2年目296,967円

私たちは、医療的ケア児とそのご家族が社会と繋がるきっかけを作るために東京旅行へご招待する事業を実施しています。

休眠預金事業では、「同じ境遇のご家族を応援したい」という各地の東京旅行体験者や支援団体の協力を得て、「家族同士が気軽に集まり交流できる場」を全国で作る事業を計画しました。

しかし事業開始と同時に始まったコロナの影響により、難病児とそのご家族の安全を最優先して予定していた交流事業は休止いたしました。代わりにご自宅で楽しめる工作キットのプレゼントやオンラインカフェを開催し、ご家族が交流できる場を提供しました。のべ31組のご家族が参加され、アンケートでは医ケア児の半数以上が、きょうだい児の100%が「満足」と回答し、感染を恐れて外出を控える日々の中で、彼らが家族で楽しむ時間を提供することができました。

コロナ収束が見えない中、安全性を最優先し当休眠預金事業は2022年4月に終了しましたが、2022年10月以降順次旅行事業を再開し、現在もご家族旅行の招待事業に邁進しております。私たちの活動をご支援いただいた皆さまに、心より感謝いたします。

お金をまわそう基金 活動の紹介

★ 助成先団体訪問・代表者インタビュー

皆さまからいただいた寄付がどのように活用されているか、当財団のスタッフが助成先団体の活動の現場取材し、その様子を発信しています。また、助成先団体の代表者に、団体が始まったきっかけや活動への思いをインタビューし、発信しています。



活動報告の
詳細はコチラ



公益社団法人難病の子ども とその家族へ夢を

共生社会を目指してウィッシュ・
パッケージのもう一つの思い



NPO法人秋川流域生活支援 ネットワーク

一番の評価は「子どもたちの笑
顔」-わいわいくらぶの子どもたち-



一般財団法人 日本京劇振興協会

日本の京劇界を担う
次世代の育成を



NPO法人 アスリード

子どもたちの未来を広げる、アス
リードの「みらいTeacher」



NPO法人 みかんぐみ

医ケア児と家族の世界を広げる
みかんぐみのピアサポート



公益社団法人難病の子ども とその家族へ夢を

難病の子どもとご家族が孤立しない
地域を作る～Hope & Wishの挑戦



公益財団法人 あいである

児童養護施設を退所した子ども
を支える「実家便」



一般社団法人星つむぎの村

みんなこの星で生きている
～障害児も健常児も自然から学
ぶ「星の寺子屋」～



NPO法人ネモ ちば不登校・ ひきこもりネットワーク

不登校・ひきこもり当事者の視
点から生まれた「安心な居場所」



NPO法人 ユースコミュニティ

経済的な困難に直面する子ども
たちに大切な経験を



NPO法人 みかんぐみ

「楽しい」気持ちとともに生きる。福
社の現場で発見した大切なこと



NPO法人 子育てサロンすくすく

令和の今も地域で子育てを支え
たい

★ 助成先団体交流会

2023年11月、2回にわたり助成先団体の担当者による交流会を実施し、日々の活動の中で感じる課題や取り入れている工夫を共有しました。



決算報告

正味財産増減計算書

(2022年12月1日～2023年11月30日)

(単位：円)

科目	当年度(第8期)	前年度(第7期)	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	41,511,650	36,933,565	4,578,085
受取寄付金振替額	41,511,650	36,933,565	4,578,085
受取補助金等	70,760	8,231,714	△ 8,160,954
受取補助金等振替額	70,760	8,231,714	△ 8,160,954
特定資産運用益	607	526	81
特定資産受取利息振替額	607	526	81
助成金返還益	1,729,094	0	1,729,094
助成金返還益	1,729,094	0	1,729,094
経常収益計	43,312,111	45,165,805	△ 1,853,694
(2) 経常費用			
事業費	38,300,820	40,033,079	△ 1,732,259
(うち支払助成金)	15,596,548	13,997,860	1,598,688
管理費	5,011,291	5,132,726	△ 121,435
経常費用計	43,312,111	45,165,805	△ 1,853,694
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	△ 249,853	△ 249,853	0
一般正味財産期末残高	△ 249,853	△ 249,853	0
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	48,019,403	42,886,175	5,133,228
受取民間補助金	0	13,933,971	△ 13,933,971
特定資産運用益	607	526	81
特定資産受取利息	607	526	81
一般正味財産への振替額	△ 41,583,017	△ 45,165,805	3,582,788
補助金返還額	△ 16,296,886	0	△ 16,296,886
当期指定正味財産増減額	△ 9,859,893	11,654,867	△ 21,514,760
指定正味財産期首残高	75,259,748	63,604,881	11,654,867
指定正味財産期末残高	65,399,855	75,259,748	△ 9,859,893
正味財産期末残高	65,150,002	75,009,895	△ 9,859,893

貸借対照表

(2023年11月30日現在)

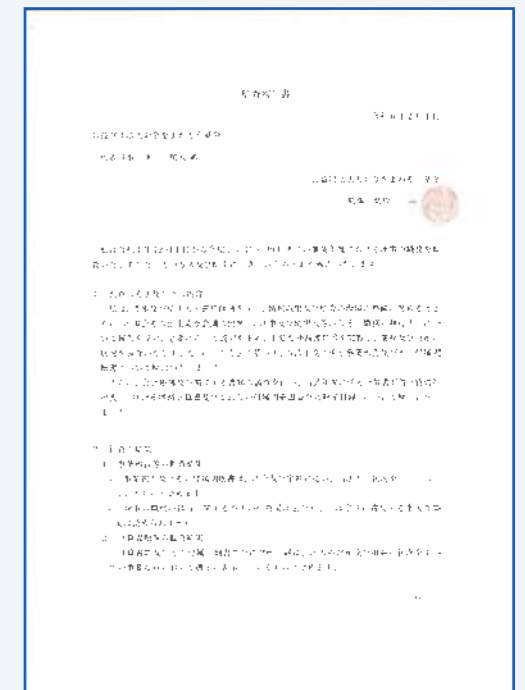
(単位：円)

科目	当年度	科目	当年度
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金預金	7,608,943	未払金	7,474,858
流動資産合計	7,608,943	未払費用	11,442
2. 固定資産		預り金	322,496
(1) 特定資産		仮受金	50,000
子ども分野指定寄付	13,782,853	流動負債合計	7,858,796
スポーツ分野指定寄付	69,173	2. 固定負債	
文化・伝統技術分野指定寄付	102,274	固定負債合計	0
地域社会分野指定寄付	794,855	負債合計	7,858,796
財団運営費(公益目的事業)	40,636,366	III 正味財産の部	
財団運営費(法人管理)	9,860,334	1. 指定正味財産	
ソフトウェア	154,000	寄付金	65,399,855
特定資産合計	65,399,855	指定正味財産合計	65,399,855
(2) その他固定資産		(うち特定資産への充当額)	65,399,855
その他固定資産合計	0	2. 一般正味財産	
固定資産合計	65,399,855	正味財産合計	65,150,002
資産合計	73,008,798	負債及び正味財産合計	73,008,798

受取寄付金の内訳(第8期) (単位：円)

子ども分野	14,226,609円
スポーツ分野	399,900円
文化・伝統技術分野	86,600円
地域社会分野	1,740,500円
財団運営費	30,643,000円
合計	47,096,609円

※指定正味財産の受取寄付金の内訳です。助成先団体を指定して寄付されたものは、属する分野に合算しています。
 ※財団運営費はさわかみホールディングスほか、のべ187人の支援者の皆さまからご寄付をいただきました。



スタッフあいさつ

清水 裕香 ★★★★★



第8期、皆さまからのあたたかいご支援により、36団体の活動を支えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

私たちは、よりよい社会を次の世代につないでゆくことを目指しています。そして、一つひとつの地道な活動と一人ひとりの小さな支援を積み重ねることで、それを実現できると信じています。どうぞ、引き続き「よりよい社会づくり」にご参加下さいますようお願い申し上げます。



瀬沼 静子 ★★★★★



いつもご支援いただきありがとうございます。2023年度は助成先団体への寄付金額が前年度比で約1.3倍となりました。

これもひとえに、苦しい環境にいる子どもたちや消滅の危機にある伝統文化などに心を寄せてくださった支援者様のおかげと心より感謝しております。2024年度も社会の片隅の小さな声に皆さまの温かい気持ちをお届けできるよう励んでまいります。引き続きお力添えを賜りますようよろしくお願い致します。



田川 道子 ★★★★★



助成先団体の方へのインタビューや活動現場の取材でいつも感銘を受けるのは、皆様がいかに声なき声に耳を傾け、ともすれば見過ごされてしまうような課題の解決に向けて、真摯に取り組んでいらっしゃるという点です。

また、そのような意義ある活動に共感し、ご寄付をいただく支援者の皆さまに心より感謝申し上げます。私自身も、社会課題を解決するために行動する人間でありたいと思います。



伊藤 眞作 ★★★★★



2023年度は、助成先団体の取組みをより多くの方に知っていただくために、団体との連携を強化した1年でした。多くの方に助成先

団体の活動が伝わり、ご支援をいただいた際は、団体の方と一緒に喜びました。

ご寄付にこめられた皆様の応援の想いに、いつも励まされています。本当にありがとうございました。引き続き、私どもの活動をお見守りくださいますようお願い申し上げます。



寄付の取り扱いについて

当財団を通じたご寄付は、税額控除の対象です。
当財団は、内閣府からの税控除の資格を有する公益法人として認定されています。

当財団で受け付けている寄付は以下の4種類です。

寄付の種類	1 個別団体への指定寄付	寄付を受付中の助成先団体の中から団体を指定して寄付することができます。
	2 分野への指定寄付	4つの分野（子ども/スポーツ/地域社会/文化・伝統技術）の中から分野を指定して寄付することができます。
	3 運営費用への寄付	当財団の運営費用を指定して寄付することができます。
	4 一般寄付	上記1～3の用途を指定しないで寄付することができます。
寄付の使いみち	個別団体への指定寄付	寄付金の100%を、指定された団体へ助成します。寄付額がその事業年度に募集している金額を上回る場合は、超過分をその団体が属する分野の助成財源（以下、特定資産といいます）とします。
	分野への指定寄付	寄付金のうち70%を、その事業年度に指定された分野の団体へ配分して助成します。寄付金のうち30%を特定資産とします。配分する金額がその事業年度に募集している金額を上回る場合は、超過分をその分野の特定資産とします。
	特定資産	特定資産は分野ごとに管理し、運用します。毎年度、事業年度末日時点の評価額を求め、その評価額の10%を翌事業年度のその分野に属する団体へ配分して助成します。
	運営費用への寄付	当財団の公益事業費または法人管理費に使用します。
	一般寄付	その事業年度の当財団の公益事業費または法人管理費に使用します。
寄付の方法	毎月継続寄付	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカード払い ・口座振替 当財団のウェブサイトより、寄付金額を指定の上お申込み下さい。
	都度寄付	<ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカード払い ・銀行振込 ・郵便振替 当財団のウェブサイトより、必要事項をご入力の上、お申込み金額を当財団指定口座へお振込み下さい。

当財団のお問合せ先

- ・ウェブサイト <https://okane-kikin.org/>
 - ・インターネット検索  お金をまわそう基金
 - ・電話番号 **03-6380-9864** (平日10時～17時)
 - ・Email info@okane-kikin.org
 - ・所在地 〒102-0082 東京都千代田区一番町29番地2
- ※現在寄付を受け付けている分野・団体については、当財団ウェブサイトまたはお電話にてお問合せ下さい。
※寄付の用途を指定しない場合は「一般寄付」として取り扱いいたします。

※寄付金の返金は致しかねます。予めご了承ください。

その他の寄付の方法



「さわかみマイル」を1マイル=1円で寄付できます。



インヴァスト証券の「社会貢献ポイント」を1ポイント=1円で寄付できます。



Tポイントやクレジットカード決済で寄付できます。



古本等の買い取り代金を寄付することができます。



ソフトバンクの利用料金と一緒に寄付することができます。

遺贈

当財団では遺贈のご相談をお受けしています。遺贈で社会貢献をお考えの方はご相談下さい。



公益財団法人
お金をまわそう基金